

地域通貨ってなーに？

さんと 蚕都くらぶ・ま〜ゆってなーに？

なんだか不安で なにやら不満
豊かな生き方 **ま〜ゆ**で発見
お金を離れていきいきと
時代を先取り **ま〜ゆ**な暮らし
仲間だけで使える通貨
ま〜ゆは温かいおかねです
やってもらって してあげて
生き甲斐探しは **ま〜ゆ**から



思いがけないふれあいも...
ま〜ゆは 心をつなぐ糸
手作りイベント・味噌プロジェクト
ま〜ゆと一緒に いい汗かこう
もの・こと交換 人とは交歓
ま〜ゆは イベント花盛り
みんなが力と知恵出してあって
ま〜ゆで築こう 楽しい社会

上田地域の人々が助け合って、楽しく心地よく暮らせるよう、お互いの知恵・技術・時間などを交換し、活かすあう制度。それが地域通貨です。

蚕都くらぶ・ま〜ゆは競争と効率第一主義の社会ではなく、共に生きる仲間としてお互いの生活を支えあう社会を目指します。

上田地域 もの・こと交換制度

- 名称 「蚕都くらぶ・ま〜ゆ」(繭)
- 単位 「ま〜ゆ」 (便宜上1ま〜ゆ=1円を目安とする)
- 会費 年間 1200円
- 常会 毎月10日に「ま〜ゆ市」 20日に「カフェま〜ゆ廿日市」を開催
- 情報交換・親睦を図る
- 会報 隔月発刊(偶数月10日)
- 入会随時・退会自由



オーストラリア国立大学 Guerrilla Markets: Exchange Systems as Survival Politics in Northeast Asia

ま～ゆ活動を発表

2016:5/16～18

蚕都くらぶ・ま～ゆ代表 安井啓子

2016年5月16日から18日に、オーストラリアのキャンベラ(首都)にあるオーストラリア国立大学で、テッサ・モーリス＝スズキ教授が主宰する学会に参加してきました。

以下は、そこで発表した内容です。

～助け合い、つながる暮らしを創る～

今日は、助け合い、つながる暮らしを創る、をテーマに3つのことについて話します。

一つは蚕都くらぶ・ま～ゆの理念と組織構成について。

二つ目が活動内容について。

そして最後に15年間活動して分かったことについてです。

蚕都くらぶ・ま～ゆの理念

まず初めに、「蚕都くらぶ・ま～ゆ」の目指していることについてお話しします。

私たちはお金をたくさん持っていることが豊かさの指標ではなく、地域の豊かな自然環境や人々の知恵・技術・時間こそが地域の本当の財産だと考えています。

それらを真に価値あるものとして認めあい、地域通貨を利用して活かしあい、そしてお互いに助け合うことで、お金への依存を減らし、楽しく心地よく暮らせる地域と温もりのある人のつながりを創ることを目指しています。

ま～ゆの組織構成

2001年にスタートし現在会員数は約200名です。男性と女性が約半々です。

会員の職業も会社員、靴屋、パン屋、設計士、公務員、農業者、学生など多様です。メンバーは10代から80代まで幅広い年齢の方が参加されていますが、中でも60代～70代の退職者や主婦など比較的時間に余裕のある人が多くを占めています。

しかし、2011年3月11日に起きた東日本大震災と福島原子力発電所の過酷な事故をきっかけに、都会に暮らすことに不安を感じて移住してきた人や30代、40代の子育て世代の参加も増えてきています。

活動内容

次に私たちがどんなことをしているか具体的な活動についてお話しします。

✿ ま～ゆ市&カフェま～ゆ廿日市

地域通貨を活用するには、まずお互いを良く知るコトがとても大切です。そこで、お互いを知りあう場として、毎月10日に「ま～ゆ市」を開催しています。

ま～ゆ市では日用品や手作り雑貨、果物や野菜など提供できるものを持ち寄ってミニマーケットを開きます。各種イベントのインフォメーションやミニトークなどの会員交流も活発にしています。

また、毎月20日には、「カフェま～ゆ廿日市」を開催しています。

会員が出店するミニマーケットの他に、会員のカフェでランチやおしゃべり会、料理教室、ミニコンサートなどを開いて楽しんでいます。



❁ 地域通貨を活用したモノやサービスの交換事例の紹介

自家菜園の野菜や果物などの農産物やストーブ用の薪などの提供、日用品、家具、電化製品、衣類、自転車、農機具など家で使わなくなったものを地域通貨で交換しています。

物の交換だけでなく、庭木の剪定、建築設計やリホームの相談、パソコン指導、農作業や引っ越しの手伝い、犬の散歩、車での送迎、自転車修理など、技術を活かしたサービスの交換もしています。希望があれば、モノやサービスなど何でも交換しあいます。最近はメーリングリストを活用した交換も活発になっています。

これらの交換を通して多様な価値の創造と一人一人の出番を作ることを目指しています。



ま〜ゆでは地域通貨の紙幣を発行していません。通帳方式を採用しています。

通帳にすると交換した日時や交換相手、内容などが記録として残ります。さらに通帳がマイナスでも交換することが可能です。もう一つの理由は紙幣の発行は管理が大変で、面倒でエネルギーがいらいます。できるだけシンプルにし、各自の責任で管理できるようにしたいと思って通帳方式にしています。

モノやサービスの交換価格は、当事者間の相談で自由に決めています。地域通貨ま〜ゆと日本円の併用も可能です。交換が成立するとお互いの通帳にサインし、ありがとうの握手をします。この握手でお互いがより身近になると、とても好評です。地域通貨ま〜ゆの流通はお互いの信頼をベースに成り立っています。

❁ この指とまれプロジェクト

さらに、地域通貨の活用だけでなく自分たちの食べるものはできるだけ自分たちで作ろうと自給的暮らしづくりもすすめています。

例えば、米や味噌、醤油、野菜、キノコの栽培などをやりたい人が自主的にグループをつくって共同で実施しています。

みんなの家づくりプロジェクトも実施しました。古民家を再生し、みんなが自由に使える新しいタイプのコミュニティ・ハウスのようなものとも言えます。先ほど紹介したカフェま〜ゆ廿日市は、このみんなの家を会場に毎月 20 日に開いています。



❁ 季節ごとのお楽しみイベント

伝統的な暮らしの文化と豊かさを実感し会員交流をすすめる場として、春のお花見、夏のビール祭り、秋の収穫祭、冬の餅つき大会 新年繭玉づくりなど、多彩に開いています。



人が集い、一緒に食事をしたり、共同作業をすることでお互いの人柄が分かり、隠れた才能も発見できます。これが地域通貨の活用にもつながっていきます。



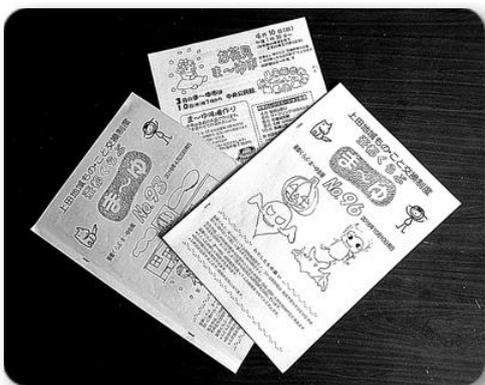
❁ ま〜ゆ寺子屋

それぞれの知恵や技術、経験を活かす場として会員を講師にした学習会を開いています。

手芸や料理などの趣味的なものから子育てや介護などの福祉関係、まちづくり、歴史散策、環境問題、放射能問題、再生可能エネルギーなど、メンバーの要望も聞きながら多彩な内容で開催しています。

時には、原発や食の安全、TPP、沖縄の基地問題など、社会的テーマのドキュメンタリー映画の上映会、講演会も開催してきました。

これらの学習を通して持続可能な未来についての関心や理解が深まり、具体的な行動へとつながって行っています。



❁ 会報紹介

今日は会報も持って来ました。この会報も会員の交流と情報交換にとっても役立っています。(現在93号まで発行) 毎回読むのを楽しみにしている人が大勢います。



★ま～ゆの参加入会方法

※ 参加される方は参加申込書に、会費を添えて会事務局に提出してください。

※ 会員になると次のものが渡されて、即ま～ゆ交換が可能になります。

- ① ま～ゆ通帳 ② 会員名簿 ③ 会報 (偶数月発行)

※ 会費(年間1,200円)は毎月10日のま～ゆ市(常会)等の会場使用料・会報作成費用・ま～ゆ通信郵送料等に使われます。

※退会は自由ですが会費はお返ししません。また、ま～ゆ通帳を会に返却していただきます。

★ま～ゆ交換の仕方

- ① お助けは 知り合い又は寿限無(27-1230)に相談して その相手を見つけ 直接連絡します。
大勢に呼びかける「ま～ゆメーリングリスト(ML)」は大変有効で即効性があります。
- ② あらかじめ交換条件を話し合しましょう。1ま～ゆ=1円を目安にお互いの合意で決めてください。
- ③ 交換が成立したら、まず自分のま～ゆ通帳に記入してから相手と通帳を交換して、その通帳の右の欄に署名をします。その後必ず「ありがとう」と言って握手をしましょう。
- ④ 残高のプラスマイナスは気にせず大いに活用しましょう。ま～ゆには富豪もサラ金地獄もありません。
- ⑤ 交換は個人個人の責任で行います。会員ひとり一人がお互いを尊重し信頼関係を大切にすることがま～ゆの原点です。



代表	安井啓子
ま～ゆ 連絡先	前田光俊
	〒386-0041 上田市 秋和 503-6
	TEL (0268) 27-1230
ホームページ	http://mayu.lolipop.jp/santo/

上田地域もの・こと交換制度「蚕都くらぶ・ま～ゆ」参加申込書

申込日 年 月 日

申込先 〒386-0041 上田市 秋和 503-6

前田光俊

TEL0268-27-1230 Eメール do.3to4-3eco@sea.plala.or.jp

ふりがな 氏名 ニックネーム	TEL
	FAX
	携帯
〒 住所	
E-mail (読み取り違いの無いように はっきり書いてください)	

※ 入会ご希望の方は、FAXは 0268-36-4722(河野)に、メールまたは手渡しの場合は申し込み先(前田)に 提出してください。